

ジャーナリズム学内特別講座 第4回

科学者によるリスク コミュニケーションは可能か



講師 **西澤 真理子** 博士

リテラジャパン代表。シュトゥットガルト大学環境技術社会学科研究フェロー、ビジネス・ブレークスルー大学院大学ティーチングスタッフ、東京大学農学部非常勤講師を兼任。著書に『リスクコミュニケーション』。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。英国ランカスター大学環境政策修士号、インペリアルカレッジ・ロンドンでリスク政策とコミュニケーションのPhDを取得。

2014年 **7月18日（金）10:40～12:10**

静岡県立大学 一般教育棟2109講義室

講義室へ **先着80名** 事前申込不要

お問合せ先：

グローバル地域センター特任助教 西 恭之 nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp

開講のお知らせ

静岡県立大学では昨年、市民の皆様を対象とするジャーナリズム公開講座を開設、大好評のもとに第1期を終了いたしました。それを受け、形でも4月より学内でもジャーナリズム講座（月1回）を開講するはこびとなりました。目指す目標は「**ジャーナリズムの向上による民主主義の成熟**」です。

納税者を国家社会の主人公とする民主主義のシステムにおいては、納税者（国民）の代表である国会、ジャーナリズム、アカデミズム（シンクタンクを含む）が専門的知見によって政府の動向を不断に検証し、ときには助ける営みが不可欠です。その中心は、自らを含む納税者の代表をも検証できるジャーナリズムであることは言うまでもありません。

残念なことに、日本にはそうしたジャーナリズムの位置づけすら希薄で、とりわけ専門知識が問われる安全保障、危機管理、原子力、ITなどの科学分野においては、十分な検証能力を備えていない印象さえあります。

そんな日本の現状を打開し、日本と静岡の安全と繁栄を確かなものにした。それが、ジャーナリズム講座をスタートさせるねらいです。

今年度は、西澤真理子（リスクコミュニケーション）、柴山哲也（日米ジャーナリズムの歴史的比較研究）、小川和久（軍事情報とジャーナリズム）の3講師が登場します。

公立大学法人 静岡県立大学 学長 木苗直秀

講師のテーマと略歴

西澤 真理子

（リテラジャパン代表）

リスクコミュニケーション

上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。英国ランカスター大学環境政策修士号、インペリアルカレッジ・ロンドンでリスク政策とコミュニケーションのPhDを取得。シュトゥットガルト大学環境技術社会学科研究フェロー、ビジネス・ブレイクスルー大学院大学ティーチングスタッフ、東京大学農学部非常勤講師を兼任。



柴山 哲也

（立命館大学客員教授）

日米ジャーナリズムの歴史的比較研究

同志社大大学院新聞学科中退。1970年朝日新聞社入社、朝日ジャーナル編集部、戦後50年企画本部等に在職後退社。ハワイ大学、イースト・ウエスト・センター、京都大学、国際日本文化研究センター、京都女子大学などの教職を経て現職。著書『日本型メディア・システムの興亡』『新京都学派』など。



小川 和久（静岡県立大学グローバル

地域センター特任教授）

軍事報道の読み方

陸上自衛隊生徒教育隊・航空学校修了。同志社大学神学部中退。日本海新聞、週刊現代記者を経て1984年、日本初の軍事アナリストとして独立。外交・安全保障・危機管理の分野で政府の政策立案に関わり、国家安全保障に関する官邸機能強化会議議員などを歴任。2012年から現職で静岡県の危機管理体制の見直しに取り組んでいる。『中国の競争力』など著書多数。



静岡県立大学ジャーナリズム学内特別講座 全10回

- | | |
|---|--|
| 第1回／4月24日（木）10:40～12:10 講義室:3106
西澤真理子「リスクとリスクコミュニケーション
——食品と環境を中心に」 | 第6回／10月31日（金）10:40～12:10 (2109)
西澤真理子
「企業のリスクコミュニケーションの問題」 |
| 第2回／5月30日（金）10:40～12:10 (2109)
西澤真理子「日本に科学ジャーナリズムはあるか」 | 第7回／11月28日（金）14:40～16:10 (4314)
柴山哲也
「調査報道の米国、発表記事の日本」 |
| 第3回／6月27日（金）14:40～16:10 (3215)
柴山哲也「事実発掘からスタートした米国、
噂話の瓦版からスタートした日本」 | 第8回／12月12日（金）10:40～12:10 (2109)
小川和久
「同じようで違う、スパイとジャーナリスト」 |
| 第4回／7月18日（金）10:40～12:10 (2109)
西澤真理子「科学者によるリスクコミュニケーション
は可能か」 | 第9回／1月30日（金）10:40～12:10 (2109)
小川和久
「軍事報道の読み方」 |
| 第5回／9月26日（金）14:40～16:10 (3110)
柴山哲也「ジャーナリズムはなぜ第4の権力か
——ベトナム戦争報道などから考える」 | 第10回／2月27日（金）10:40～12:10 (2109)
小川和久
「あなたは日本の防衛力を知っていますか」 |